

審査基準

評価項目			主な評価ポイント				配点			
実績・資格等評価	企業の能力	企業実績	・ 企業の業務実績に応じて、以下のとおり採点する。 評価点 = Σ (配点×各実績に係る業務係数) = 10 × Σ (配点×各実績に係る業務係数①×業務係数②) ※業務係数①：同種業務…0.5、類似業務…0.25 ※業務係数②： $\left\{ \begin{array}{l} \text{基本設計及び実施設計の各段階におけるCM業務…1.0} \\ \text{基本設計又は実施設計いずれかの段階におけるCM業務…0.5} \end{array} \right.$ ※件数は同種施設と類似施設等の合計で最大2件					20		
	管理の技術者	管理技術者実績	・ 管理技術者の業務実績に応じて、以下のとおり採点する。 評価点 = Σ (配点×各業務に係る業務係数) ※業務係数： $\left\{ \begin{array}{l} \text{基本設計及び実施設計の各段階におけるCM業務…0.5} \\ \text{基本設計又は実施設計いずれかの段階におけるCM業務…0.25} \end{array} \right.$ ※件数は最大2件					10		
	主任担当の能力者	主任担当技術者資格	・ 主任担当技術者の有する技術資格の種別に応じて以下のとおり採点する。 評価点 = Σ (各主任担当技術者の評価点) = Σ (配点×資格係数) ※資格係数 $\left\{ \begin{array}{l} \text{建築（総合）主任担当技術者：CCMJ…1.0（一級建築士は必須）} \\ \text{建築（構造）主任担当技術者：CCMJ…1.0（構造設計一級建築士は必須）} \\ \text{電気・機械設備主任担当技術者：} \left\{ \begin{array}{l} \text{設備設計一級建築士及びCCMJ…1.0} \\ \text{建築設備士及びCCMJ…0.5} \end{array} \right. \\ \text{コスト管理主任担当技術者：} \left\{ \begin{array}{l} \text{建築コスト管理士及びCCMJ…1.0} \\ \text{建築積算士及びCCMJ…0.5} \end{array} \right. \\ \text{施工計画主任担当技術者：CCMJ…1.0（一級建築施工管理技士は必須）} \end{array} \right.$					主任担当技術者	総合	5
	構造	5								
	電気	5								
	機械	5								
	コスト	5								
	施工	5								
提案内容評価（企画提案書）	実施方針等	業務理解度	・ 事業の基本目標や施設の使命を深く理解し、本業務の目的を達成するためのCMとしての基本方針が、論理的かつ的確に示されているか。 ・ 設計業務優先交渉権者の技術提案書の特徴や具現化に向けたポイントを的確に捉え、発注者の利益を最大化するためのマネジメント姿勢が示されているか。					15		
		実施フロー及び工程の妥当性	・ コスト検証や施工性の確認など、CM業務の重要な支援ポイントが、設計工程と矛盾なく適切なタイミングで組み込まれているか。 ・ 業務の手戻りを防ぎつつ、限られた事業期間内で発注者の円滑な意思決定を導く、実現性の高い業務手順と工程計画となっているか。					15		
	テーマ別提案	【テーマ1】 高品質かつ機能性の高いホール整備事業を着実に進めるにあたり、発注者の円滑な意思決定を支援する体制の構築及び、効果的で実効性の高い品質・工程のマネジメント手法について提案すること 【テーマ2】 設計者が提案する既存地下構造物の活用方針や、河川や道路等に近接する敷地特性を踏まえた施工計画、工期短縮策の妥当性・実現性を検証する手法について提案すること 【テーマ3】 変動する社会経済情勢を見据えた厳格なコスト管理及び実効性の高いVEやコスト削減の手法について提案すること					180			
		与条件との整合性 ・ 課題把握	・ 設計業務優先交渉権者の技術提案書の意図や特徴を十分に読み解き、本事業の与条件と齟齬のない、的確かつ整合性のとれた提案となっているか。 ・ 本業務の目的を理解するだけでなく、事業特性や設計者の技術提案を具現化する過程で想定される課題を深く洞察し、発注者が留意すべき事項を的確に抽出できているか。					20 × 3テーマ		
		実現性	・ 抽象的な理念や目標を掲げるにとどまらず、具体的な検証手順やアプローチが示されているか。 ・ 過去の類似実績や専門的な知見に裏付けられた、実効性と説得力を持つ提案となっているか。					20 × 3テーマ		
		創意工夫	・ 専門家ならではの高度な創意工夫や、プロジェクトの価値（「品質向上」「工期短縮」「コスト削減」など）をさらに高めるための独自のノウハウが盛り込まれた提案となっているか。					20 × 3テーマ		
価格評価			・ 見積価格に応じて、以下のとおり採点する。 評価点 = 配点×（全提案者の最低提案価格／当該提案者の提案価格） ※小数点第二位以下は切り捨て					30		
計								300		